

新潟市文化創造交流都市ビジョン(現行ビジョン) 振り返り概要

○振り返り

現行ビジョンの扱うテーマが多岐にわたることに加え、市全体の財政基盤強化に向けた集中改革、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、現行ビジョンの策定時と現状とでは前提が異なるため、計画期間全体を通じた総合評価が困難であるが、以下の取り組みを行ってきた。

○計画期間中の主な取り組み

基本方針1 市民の文化芸術活動を支援し、次世代への継承を進めます

(1)市民が主体の文化芸術活動への支援

- 美術、文芸、マンガなどの分野で公募型の文化事業を実施し、市民の活動意欲を喚起した。
- 「アーツカウンシル新潟」では、助成制度の運用や相談対応等により、市民団体の主体的な文化芸術活動を支援した。

(2)文化創造拠点の活性化

- 各文化施設では、それぞれ特色を活かした幅広いジャンルの事業を実施し、市民に鑑賞・参加機会を提供した。

(3)子どもや若者、アーティスト・クリエイターの育成・支援

- 子どもの豊かな感性や創造性を育むため、文化施設や学校で、子どもが文化芸術を鑑賞・体験する機会を提供した。
- 新潟市民芸術文化会館や区文化会館等では、施設の専門性を活かし、小学生から高校生を対象に音楽や演劇教室の開催し、将来の担い手の育成に取り組んだ。
- 芸術創造村・国際青少年センター(ゆいぽーと)では、滞在するアーティストと市民が交流することで、多様な価値観に触れる機会を創出した。

(4)地域文化の継承と発展

- 神楽舞や太鼓など地域に伝わる伝統芸能や祭りなどを保存・継承する市民活動を支援した。

基本方針2 新潟市らしい文化の発信と交流により世界の中での存在感を高めます

(1)新潟市らしい文化を国内外へ発信

- 開港150周年記念事業の一つとして「水と土の芸術祭2018」を開催し、みなとまちの魅力向上に繋げるとともに、多彩なアプローチで新潟の魅力国内外へ発信した。
- 国内唯一の劇場専属舞踊団 Noism Company Niigata による質の高いオリジナル作品を創造し、国内外で上演した。

(2)国内外の創造都市との交流を深める

- 姉妹都市であるフランス・ナント市や東アジア文化都市パートナー都市の中国・青島市、韓国・清州市と、芸能団の相互派遣や青少年交流を行った。

基本方針3 文化の力を活用して都市の活力創出と成長を目指します

(1)文化創造の力を活かした交流人口の拡大と地域経済活性化

- 県と連携し、本市の特色あるマンガ・アニメ文化に関連するアニメーション制作や広告デザイン業等の企業を誘致し、新たな雇用機会を創出した。

(2)社会や地域の課題解決に文化芸術を活用

- 障がいのある人となない人が協働で音楽を創作する取り組みや、障がいのある人による表現活動の展示・公演を行ったほか、障がい者施設と文化芸術団体とのマッチングの仕組みづくりなど、文化芸術による共生社会推進に向けた試行的な取り組みを進めた。